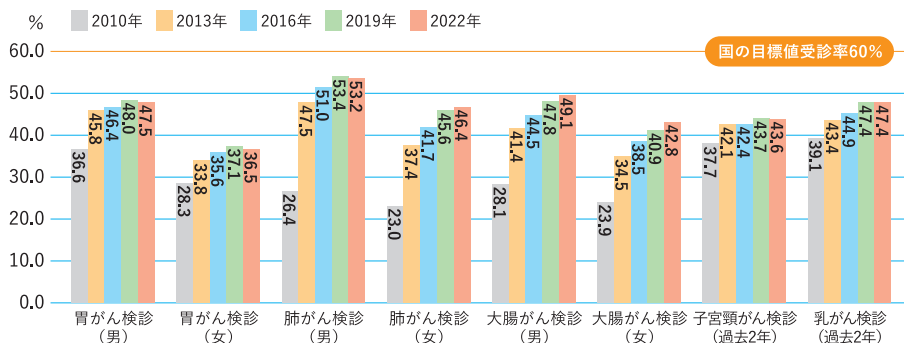




がん検診のすすめ

早期に発見するには、定期的な受診がかかせません

日本人の2人に1人は一生に一度はがんになるおそれがあります。2023年には4人に1人はがんで亡くなりました。がんは40年以上、日本人の死因の第1位ですが、早期に見つければ治る可能性が高い病気です。がん検診で早期がんを見つけることで、がんによる死亡を減らせることから、国は受診率60%以上を目標に定期的な受診を呼びかけています。



出典：国民生活基礎調査によるがん検診受診率データ（国の推奨年齢40歳～69歳、子宮頸がんは20歳～69歳）



大腸がん検診

毎年1回、便潜血検査(2日法)を受けましょう

便潜血検査(2日法)について

大腸がんは怖い病気ではありません。早期で見つかり、多くの人はほぼ完治しています。「健康だから」と思っている人も毎年1回、大腸がん検診の便潜血検査(2日法)を忘れずに受けてください。

大腸にがんなどの異常が起きると出血して便に血液が混じるようになります。大腸がん検診の便潜血検査は、血液成分の一つ「ヘモグロビン」という物質を測定します。ただし、出血で腸内に出たヘモグロビンは、便として出てくるまでに腸内環境(温度、湿度、腸内細菌、消化酵素等)

によって変性して正確に測れないことがあります(偽陰性の疑い)。

便潜血検査は、とても簡単な検査です。検査前に食事制限、服薬制限などは必要ありません。便を専用の採便器具(採便容器)で採取し、検診機関や病院等に持参するだけ。説明書をよく読んで正しく便を採取し(表面擦過法)、持参するまでは、必ず、冷暗所に保管してください。血液は温度変化で検出できなくなる可能性があります。

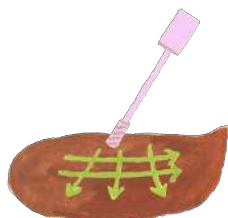
便潜血検査(2日法)の流れ 1～3はご自宅で簡単にできる検査です。

1 ご自宅のトイレで

2 採便スティックで便をなぞる

3 採便は2日行う

4 検診機関や病院などに提出





陽性(要精検)の通知を受けたら

勝手な判断はせず、精密検査を受けることが大切です

便潜血検査の結果が陽性になった人には、「要精検」という通知があります。「あなたに大腸がんの可能性がありますが」という意味ですが、大腸がんとは限りません。痔の場合もあるし、ポリープの場合もあるでしょう。潰瘍^{かいよう}ができていられるのかもしれない。「本当のこと」を知るために精密検査を受けることが大切です。精密検査を受けた後、「異常なし」という結果になる人も多くいます。

ただし、「以前も精密検査を受けたけれど異常なしだったから、今回もそうだろう」と勝手に判断せず、必ず精密検査を受けましょう。精密検査を受けずに手遅れになる人もいます。

要精検なのに受けなかった人は、受けた人より死亡率が4倍高いというデータもあります。日本対がん協会のグループ支部では約248万人の検診をして、精密検査を受けた人たちから3949人のがんを見つけています(2023年度)。これは精密検査を受けた人の約4.4%にあたります。一方、要精検になった人の約33%(約4.5万人)は精密検査を受けたかどうか不明です。

大腸がんは一般的に進行がゆっくりです。早く見つければ内視鏡治療もでき、治療成績も非常に高い。検診を受ける人が増えれば、大腸がんで亡くなる人を減らすことができます。



精密検査の方法

大腸内視鏡検査で詳しく調べます

大腸がんが疑われる場合、まず大腸内視鏡検査が行われます。さらに検査が必要な場合、がんのある正確な部位や広がり調べるため、CT検査、MRI検査などが行われます。

大腸内視鏡検査 内視鏡を肛門から挿入して直腸から盲腸までの全体を詳しく調べます。ポリープなどの病変が

見つければ組織を採取して病理診断を行います。正確で安全な検査を行うため、腸管内をきれいにする必要があります。そのため検査前日から検査食や下剤を服用し、当日に多量(1.5~2L)の下剤(腸管洗浄液)を飲みます。内視鏡検査ができない場合、大腸CT検査を行う場合があります。



大腸がんが見つかったら

治療法は進んでおり、医師との相談が大事です

医師との相談が大事です。がんの治療法は進んでおり、進行度合いに応じて内視鏡治療などさまざまな治療法を選べます。一般的に、早期の発見であれば治療は軽く、入院も短くなり、働いている人は職場に早く復帰ができます。治療費も軽減できます。がんが進むと負担が大きくなり、命にかかわることもあります。

治療には医学的な面だけでなく、仕事や家族、人生観もかかわります。「先生の指示や意見に従おう」と思っている、「本当にそれでいいのだろうか?」と悩む時もあるでしょう。迷った時は担当医に遠慮なく相談することが重要です。セカンドオピニオンという、他の専門医に相談してみる手もあります。